



“りそにゃ”とまなぼ！ Study

確定拠出年金・加入者の皆さまへの
お役立ちニュースレター

2025

August

8月

制度（基本）

運用・商品（基本）

運用・商品（実践）

その他

資産が2倍になるには何年かかる？

複利運用で資産が投資元本の2倍になる利回りと年数を簡易に計算する方法をご紹介します。資産運用を行う際に、何%で運用できたら何年後に元本がどれくらいになるかが分かれば、運用の目標ができたモチベーションが上がりませんか？厳密に複利計算した結果との差はわずかなため、大まかな目安を知りたい時にすぐに分かる方法として、知っておくと便利な法則です。

＜資産が2倍になる利回りと期間を簡単に計算＞

「72の法則」…一括投資（複利運用）の場合

$$72 \div \text{運用利回り（%）} = 2\text{倍になる期間（年）}$$

一括投資を、例えば利回り2%で複利で運用を行うと、運用資産が元本の2倍になるには、36年（ $72 \div 2[\%]=36[\text{年}]$ ）必要と分かれます。運用利回りが低いほど、長い時間がかかります。

複利運用では元本に加えて利息にもさらに利息がつくため、長期に運用するほど雪だるま式に資産が増える可能性があります。長い期間を確保するためには、運用はできるだけ早く始めることが重要です。

72の法則による2倍になる組合せ

運用利回り	運用期間
0.01%	7200年
0.1%	720年
1%	72年
2%	36年
3%	24年
4%	18年
5%	14.4年

「126の法則」…積立投資の場合（慶應義塾大学の杣々木規雄教授が提唱）

$$126 \div \text{運用利回り（%）} = 2\text{倍になる期間（年）}$$

例えば運用利回りが2%だと、積立の資産が元本の2倍になるには、63年（ $126 \div 2[\%]=63[\text{年}]$ ）必要と分かれます。ただし、積立投資を63年間続けることは現実的ではないかもしれません。目標の期間に合わせて必要な利回りを計算（ $126 \div \text{運用期間}$ ）し、運用計画を立てることが重要です。

仮に月3万円の積立投資を30年間続けた場合、積立てた元本の合計は1,080万円ですが、運用利回り4.2%（ $126 \div 30=4.2$ ）で積立投資を続けると、30年間で資産は約2倍になり、2,000万円を超えるという計算結果になります。

確定拠出年金やNISAのつみたて投資枠では、このような計算式を使ってご自身の目標額に必要な大まかな期間と利回りを知ることができ、具体的な運用プランをイメージできます。

126の法則による2倍になる組合せ

運用利回り	運用期間
0.01%	12600年
0.1%	1260年
1%	126年
2%	63年
3%	42年
4%	31.5年
5%	25.2年

確定拠出年金のご自身の運用利回りは、加入者サイトで確認することができます。今回紹介した「72の法則」「126の法則」等を使って、目安となる運用期間に合った運用利回りと比較し、必要があれば配分変更やスイッチングを検討してみましょう。



“りそにゃ”とまなぼ！は
毎月発行しています。

バックナンバーはこちら
からご覧いただけます。

<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/oshiete/>



2025年8月発行

りそな銀行 信託年金営業部

DC運営管理グループ

〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター

0120-401-987+「2#」

本レターの無断引用・転載はお断りします。